令和６年２月５日

中和田中学校地域防災拠点
運　営　委　員　　各　位

中和田中学校地域防災拠点運営委員会
委　員　長　　　　　　　佐藤　　茂

第４回中和田中学校地域防災拠点運営委員会開催のご案内

次のように令和５年度第４回運営委員会を開催いたします。
万障お繰り合わせのうえ、ご出席よろしくお願いいたします。

１　日　時；令和６年２月２７日（火）１９：００より

２　場　所；中和田中学校会議室

３　内　容；①挨拶：永島学校長・佐藤委員長・大井係長・富樫係長

②中和田中学校区地域防災拠点防災訓練反省
当日の資料提起あり

③次年度の人事及び、年間計画（詳細は６月）

④その他

なお、添付しました運営委員の名簿の、赤字の方のご出席をお願いいたします。副班長以上の参加といたします。

※　開催時間が１９時となっております。学校職員として勤務時間外になっています。手短に会議を進めたいと思いますので、よろしくご協力をお願いいたします。

※

以上

中和田中学校地域防災拠点　運営委員会　名簿　令和５年　１０月１０日最終

委員名簿　〈令和５年度〉

役　職	氏　名	連絡先	携帯電話	町　会　役　職	担当班	健保管
学校長	永島　靖之	802-1301	090-5329-7061	中和田中学校　校　長	学校再開	
委員長	佐藤　茂	803-0805	090-3502-6271	和泉中央南ハイツ　会　長	総　括	○
副委員長	日和　正義		090-5571-0053	和泉台谷戸町内会　会　長	庶　務	○
副委員長	畑中　祐一	801-3323	090-8046-384	和泉東町内会　会　長	庶　務	○
委員	北村　哲也	802-1301	090-7228-7472	中和田中学校　教務主任	学校再開	
監事	高橋　力	802-1301	090-4205-0949	中和田中学校　副校長	学校再開	
無線通信	関　進也	803-5750		和泉中央南ハイツ　情報担当	無線担当	

班員名簿

班　名	所属	氏　名【◎：班長、○：次長】	
庶務班（旧管理運営班含む）	部長	弓指義昭（台・副会長）	
	副部長	片柳　和正（東町・副会長）	
	台谷戸	◎樋口幸男、渡邉好庸、北爪純一、中井順一	
	東町	○松浦紀明、田中辰秀、小熊嘉弘	
	南ハイツ	○本間順一、高野　勝、武田　進、	
情報班（旧避難誘導班含む）	部長	五ノ井　博之（台・副会長）	○
	副部長	岡村　栄治（ハイツ・総務）	
	台谷戸	○遠藤和男、山下朋美、京増房枝、石田健人	
	東町	宮澤勇二、田村真樹	
	南ハイツ	◎関　進也、○佐藤京子、藤井一江	
救出・救護班（旧衛生管理班含む）	部長	星川　正志（ハイツ・副会長）	
	副部長	安西　洋（台・防災部長）	
	台谷戸	◎本所　実、上条真介、矢島　巌	
	東町	○瀧内史貴、	
	南ハイツ	○河上　親、木村文恵、	
食料物資班（炊き出し班含む）	部長	齊藤　隆（東町・防災部長）	
	副部長		
	台谷戸	○川俣恵子、安西ひとみ・福田	
	東町	○田村由香、石淵美紀、内野佳奈子、金澤敏江	
	南ハイツ	◎秋元幸子、○谷サチ子、木村文恵・羽鳥静子	
設備班（飲料水・生活水確保、トイレ対策含む）	部長	海老根孝（ハイツ・顧問）	
	副部長	小山道夫（ハイツ・防災部長）	
	台谷戸	○岩堀久男・根本芳子、奥野栄子、秋野節子、	
	東町	○平野　豊、田部　慧、	
	南ハイツ	◎小山道夫、小宮山雄二	

泉区役所担当者

氏　名	連絡先	携帯電話	役　職
大井　翔	800-2433	090-8485-6003	福祉保健課事業企画担当係長
富樫　令	800-2501	080-7736-4746	生活支援課生活支援担当係長

横浜市動員職員

和田　育子（わだ　いくこ）	泉区保険年金課	島田　千尋（しまだ　ちひろ）	健康福祉局介護保険課
緑川　あいり（みどりかわ　あいり）	教育委員会事務局学校支援・地域連携課	三橋　剛（みつはし　つよし）	泉区生活支援課

● 中和田中学校地域防災拠点運営委員会10/10

１０月１０日（火）19時から中和田中学校地域防災拠点運営委員会が開催された。前回会議は１９時からと決められていたが、学校職員には無理を言っている。学校の仕事改革を行ってきている最中である。無理を聞いてくれる管理職に感謝せねばならない。

１２月１０日（日）に開催する地域防災訓練がメーンの議題であった。校長からは、世界を見ていると様々な震災などが多発している。今こそ訓練を活かしていきたい。また佐藤委員長からは最近のコロナとインフルエンザの流行の経緯が資料を基に話があり、給食訓練をどうするか、コロナ前には、給食担当員が２５名位いたが今は７・８人しかいない。作ることはできない。後ほど詳細を詰めていきたい。と提起された。

役所の担当係長からも挨拶をいただいた。

報告事項として、委員長から「災害時下水道直結型仮設トイレ」設置の進捗状況について写真を基に説明があった。上物は3月に備蓄庫に搬入される。　これについては、次年度に生かしたい。

続いて大井係長からは、資料を基に１２月の具体的な訓練内容について報告された。

これらを基に各セクションごとに、各テーブルに分かれて、具体的な行動について論議した。本番前にもう一度会議があるかと思われたが、スムースに話がまとまり、次回は訓練本番となる。
あれだけ悩んだのは何だったんだ。役員皆様の力量に感謝申し上げる。

[町内会自治会のトップページに戻ります]

Copyright © Izumiku Rengou Jichikaichoukai. All Rights Reserved

中和田中学校地域防災運営委員会
委員長　佐藤　茂

地域防災拠点の防災訓練を終えて

１２月１０日、中和田中学校地域防災拠点の防災訓練が行われました。この４年間、少人数での座学的な訓練で終わり、４年ぶりの大きな訓練でした。

この2か月間、行政の担当係長との打ち合わせや、パソコンからの精査など、多忙を極め、資料も詳細に作ってきました。

当日の流れを振り返ってみると、役員関係６０名が9時半に体育館に集合。その前に備蓄庫から靴カバーと役員用資料を体育館に準備し、皆を待ちました。

体育館でセクション別に資料を基に今日の流れと、準備する資材、その格納場所などを説明。

１０月での最後の会議の時に打ち出した内容とはずいぶん変わってきている。１０月２８日に行われた「モデル防災訓練」で、流れを変えた。そのための役所との打ち合わせを重ねた。できた資料は各町会や学校、担当職員にメールで連絡を取り合ってきた。

各セクションごとに準備を進め、１０時には一般避難者と体育館に合流し、当日のプログラムに従って、東町の畑中会長の司会で進められた。

運営委員長・学校長・区役所・来賓（山崎誠・さかい学の各秘書）災害時の担当職員の紹介。

委員長よりプログラムの最終説明を行い、４班に分かれ訓練に入った。

１）職員：職員室において無線電話で区役所と解説にかかる訓練

災害時には、防災委員会担当職員は、この避難所には来ません。今日紹

介された４名（3名が出席）を中心に会場を開設し、運営が始まります。開設のための、無線連絡を職員室から行いました。

２）設備班：トイレ関係の説明。備蓄庫の資機材を使って、自宅でのトイレの使い方、今後設置される「はまっこトイレの原理と使い方。

はまっこトイレは、マンホール関係は設置され、講習を受けましたが、ボックス関係は３月に備蓄庫に配置されます。

今回は、委員長手作りの簡易トイレと、備蓄庫の簡易トイレを使い、自宅での水が出ない状況でのトイレの使い方。初めに４５Lの袋を便器にかぶせる。これは便器の中の水が抜けないために１枚袋を入れておく。次に便座の上からもう一枚袋を入れる。ここに用を足して凝固剤を入れ、固まったものを一般ごみとして出す。はまっこトイレについても簡単に説明。

3）救出・救護班：発電機を中心にした、投光器やスマホの充電。手元用の携帯電気など。

モデル防災訓練では、発電機の使用法で投光器のみだったが、今はスマホが命よりも大事。投光器は発電機が１時間しか持たないが、備蓄庫には手元用の簡易ランタンが１２０個ある。これは電池がなくなれば、ハンドルを回して蓄電できるもの。本校の備蓄庫にはスマホ充電用の資材は備えてある。（実は南ハイツからもって来たもので、早急に買い備える。）簡易ランタンと常夜灯についても説明。

４）庶務班：避難場所のスペースについてとテーブルと椅子を使った休憩所の設定、など、従来と違った設定も試みた。

養生シートを廊下代わりに使い、そのわきにレジャーシートを引いて使用した。一畳と広いところを設定し、一畳には寝返りも打てるよと試してもらった。コロナ前には体育館に２００名を設定していたが、今は１００名となっている。多くの方が詰めかければ考慮することもあると思われる。休憩スペースは写真がないので、モデル訓練の時に物を利用。

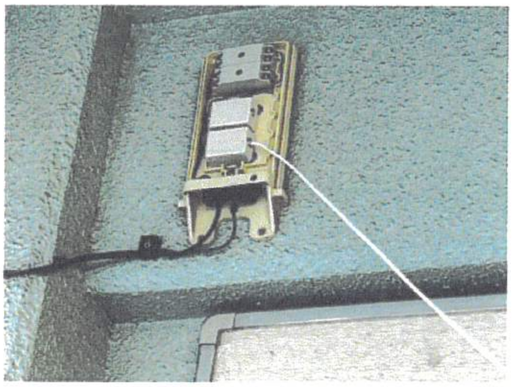
中田中学校での写真

５）情報班：受付を中心とした、緊急電話、無線機器を利用した通信機器。

受付では靴カバーと資料の入ったファイルを配布など多岐を極めた。

中田中学校でのモデル訓練の時の受付部門のすばらしさに感銘し、無線協会のメンバーに声をかけてあった。その後の確認を取ってなかったので、心配していたが、素晴らしい訓練を行うことができた。

電話機は保管してあったものの、配線のジャックがどこだかわからない。これも体育館の外にあることがわかり、正規に設置し、実際に使ってみることもできた。無線関連では、資機材をすべて持ってきてくれ、固定無線と移動無線など、必要不可欠なものであることも学習できた。避難者受付カードでは、町会ごとに色分けしてあり、非常に分かりやすくなっている。



電話機のモジュール

６）炊き出し班：従来は豚汁やカレーの炊き出しを行っていたが、モデル訓練では備蓄庫の配給を行っていた。まず備蓄庫にあるものからが、必然であった。水缶をはじめ、クラッカーやおかゆなど、４５箱も入れ替えで不要になってくる。これを期限が切れる前に受け渡し訓練として使用。

水缶２個・保存パン１個・クラッカー・おかゆ・カレー・ごはんを１２０人分用意。これを４ヵ所回って、最後の解散前に引き渡すことにした。水缶など残ったものは欲しい方にわけた。

後書き

１０月の最後の会合の時には一定の打ち出しと、流れが決まってホッとしていたが、モデル訓練を見てから頭の中の流れが変わった。役所の担当職員とも何回も打ち合わせ。その都度各会長や危機管理係にもメールをしたり、一日も心の休まることはなかった。

当日まで心配したが、開けてみてびっくり。こんなに素晴らしい訓練ができるのか。任期満了で喜んで心置きなくバトンタッチできる。次の委員長には、陰からそっと応援したい。　令和5年１２月１０日　１９：００

第1回中和田中学校地域防災拠点運営委員会次第・議事録

参加者：校長・副校長・北村先生・八木沢係長・近藤係長
佐藤会長・大石会長・安西会長

1.　開催日；令和5年6月8日（火）18時00分開始
2.　会　場；中和田中学校会議室
3.　挨　拶；永島学校長、八木沢係長、佐藤委員長

八木沢：小沢課長から近藤係長に代わりました。職員動員の4名も数名が新たになりました。
佐藤：八木沢係長の職場の番号変更と、近藤係長の番号紹介。動員職員の変更を後日会長に連絡すること。東町は名簿の変更なし。台谷戸は名簿の追加あり。
大石：第谷戸は人数も多い。役員が20数名いることから、メンバーを一変に変えることはできない。二年任期の為一年毎に変えている。鍵の件については副会長変更の為メンバーが変わっている。
佐藤：避難者カードについては、検温の欄・ペットの欄も入れました。避難者カードはカラーの紙を用意し、印刷をします。オレンジ色・ピンク・水色を揃えます。

4.　議　題；

（1）令和3年度拠点運営連絡協議会総会の報告
　コロナ禍出の開催であり、運営委員長・学校長・区長・来賓と少人数での開催となった。時間も詰めるだけ詰め、行政や学校との打ち合わせは、会議終了後行われた。
　監事に任命されていたので、5月20日監査を行い、6月8日監査報告を行った。

（2）本日の資料
① 運営委員名簿の確認
② 班編成と各班の事務分掌　台谷戸で一部変更
③ 鍵の管理者名簿　台谷戸で一部変更
④ 安否確認カード　検温とペットを入れました。各町会色別に印刷します。
⑤ 年間活動計画の見直し（案）　中和田小学校は年に3回（訓練含む）
和泉小学校は年に5回

泉区の会合を受けて、6月に提出資料の関係を整理するための会議。
9月の訓練は各町会で訓練を行っていることから、割愛したい。9月には18名の委員さんの会議を行い、11月には12月の訓練の最終確認を行いたい。12月の訓練では40名の少人数として、検温から始めてコロナ対策を踏まえた訓練としたい。2月は反省と次年度の申し送りで開催したい。

⑥ 12月訓練計画について　　　　八木沢係長

八木沢：5月に区の総会を行いました。(昨年度の9月の訓練を踏まえ)コロナの感染対策がどこまでできるのか。また炊き出し訓練については豚汁を作っていたが、今回は炊き出しはNGだよということです。区からは訓練はしていただきたい。訓練の内容については資料を基にのち程。回数については、9月の訓練の準備などから6・7・8と行ってきた。また12月の訓練に向けて毎月行ってきた。これからはコロナの状況がどのようになっていくかわからないので、とりあえず12月に向けた訓練に向けて進めていけたらなと思います。
大石：基本的に賛成です。2月は8日(火)に行う。
佐藤：資料のように年4回の会議を行います。この資料を提出いたします。12月12日40名での訓練といたします。(資料を基に開催内容の確認を行った。)
訓練の中で配布した備蓄庫の中身については、今回は水しかありませんので、インスタントのカレーとチンするご飯を配布したいと思います。自宅で食べていただく形を考えています。訓練の中では本番ではこうなるんだよと全体が見える形を作りたい。
会計予算について資料を基に説明。会計報告。レジャーシートや体温計など、コロナ対策の物を購入したことを報告。
大石：備蓄庫のカーテンについて、だいぶくたびれているので、予算の中で対応するのか、
防炎カーテンにするのか。お金が8万円しかないものね。備蓄庫になる前からのカーテンと考えられる。
八木沢：5ページに戻ります。訓練については運営委員さんを対象に行う。委員の訓練の為生徒は参加しない。平常に戻った時には改めて考えたい。感染症が爆発的になった時には、コロナの患者が来た時にはどうする。マニュアルでは武道館に発熱者とか、そういった方々を分ける。体育館には発症していない健常者を誘導。昨年の会議ではそのようになっていた。基本的にはコロナの患者さんは拠点には来ません。来ないように指示しています。家が役出された。壊れたというときには来る可能性はあります。そのようなときには武道場に行ってもらうんですが、48時間以内に療養所に行ってもらうことが神奈川県に条例になっています。感染した人はここには来ないということが前提と考えて

よい。２・３日たってから発熱することは考えられる。それまでは一緒に行動してもらう。
体育館のピロティー部分んで検温をしていただく。熱のない人は体育館に誘導してもらう。
発熱者は武道館に直接案内するのでなく、スロープ部分を利用して受付を二つにする。
受付にはビニールシートで感染対策をした状態を作る。フェースシールドやビニール手袋マスクなど、対策を行う。
体育館では従来は１メートル１メートルと間を空けて作っていたが、今回はレジャーシートを活用しながら、間隔を空けながら引いていく。更衣室の男女別設定。母子家庭・単身の女性のスペース。授乳のスペース。物資が届いてきたときに配膳の場所。毎日検温をする。ストックされる場所にも消毒を置くなど。このようにしていくと従来の200名は入らない。家が壊れてどうしてもという方のみとして、住めるなら自宅でとお願いする。
受付の設営をしっかり行いたい。体育館では２メートル間隔でシートを置いて行ってもらう。今回は炊き出しが出来ないので、物資が届いたということで、シュミレーションを行い訓練としたい。備蓄庫にどのようなものがあるのか。どのようなものを出してくるのか。簡易トイレは見せたほうがいいのか。テーブルは体育館のどのものを使っていいにかなど、確認をしたい。今回は実践的な訓練としたい。
佐藤：シートは１，８M×１，８Mだから、１～２名で1枚。４人家族なら２枚。
八木沢：ダンボールで区切るやり方があるが、泉区には、全部の学校に配る量は無い。介護施設に渡す分はあるが、拠点には回らない。武道場については畳を利用する。今回は利用しないが、考えておかなければならない。
佐藤：緊急の時には何が大事か。食い物ではない。まずトイレである。
八木沢：体育館のトイレを利用させていただくが、水が流れるかどうかなどはっきりするまではトイレパックを利用する。簡易トイレはまず設置する。全体で１時間ないし１時間半ぐらいで終わりたい。熱のある方・トイレ担当・検温担当など。
9月・１０月と班長さんを交えての会議となるので、その時に改めて説明したい。震度７以上の場合はこの学校が使えるかどうか。まず確認しなければならない。ダメな場合は地区センターや小学校など大丈夫なところに行ってもらう。

（３）その他（係り分担等）

・委 員 長―運営、申請、報告、連絡調整等（今後調整が必要）

・副委員長ー議事進行、議事録作成、会計事務、各班の取りまとめ
・委　　員ー各班の運営、備蓄庫管理等
・監　　事ー各班活動の連絡調整等

以上

中和田中学校地域防災拠点運営委員会会則

（目的）

第１条　中和田中学校地域防災運営委員会（以下「運営委員会」という。）は中和田中学校区内の自治会（町内会）の相互の綿密な連絡および連携を図ることによって、校区内の防災力の向上に寄与することを目的とする。

（所掌事務）

第２条　運営委員会は、次の各号に掲げる事項について協議する。

①　運営委員会の運営助成に関すること

②　運営委員会の防災に係る研修及び訓練等の支援に関すること。

③　運営委員会の予算及び決算に関すること。

（組織）

第３条　運営委員会は、台谷戸町内会・東町内会・和泉中央南ハイツ自治会の３町内会の役員及び区行政機関、中和田中学校関係者をもって組織する。

（役員）

第４条　運営委員会に次の役員を置く。

委員長　　１名
副委員長　若干名
委員　　　若干名
幹事　　　１名（中学校副校長）
副委員長には学校長を、委員には教務主任を置く

２　役員は、構成員の互選によって選任する。

３　役員の任期は２年とし、再任を妨げない。

４　役員に欠員が生じた場合、補充選出する。その場合の補充役員の任期は残任期間とする。

（役員の任期）

第５条　委員長は、運営委員会を総括し、会議の議長となる。

２　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、委員長に代わって協議を総括する。

３　幹事は会計を監査する。

（会議）

第６条　運営委員会の会議は、地域内の防災に関し、年間計画に合わせ開催するものとする。

２　運営委員会の会議は委員長が招集する。

（経費）
第７条　運営委員会の経費は、横浜市からの助成金、その他の収入をもってこれに充てる。
（会計年度）
第８条　運営委員会の会計年度は、４ 月１日に始まり、翌年3月３１日をもって終わる。
（事務局）
第９条　協議会の事務局は、中和田中学校に置く。
（委任）
第１０条　この会則に定めるもののほか、運営委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附則
この会則は、令和２年4月１日から施行する。

第6回中和田中学校地域防災拠点運営委員会次第

1　開催日：平成31年2月12日（火）18時00分開始

2　会　場：中和田中学校会議室

3　挨　拶：堀尾、山学校長、丸山課長

4　議　題：司会進行（佐藤副委員長）、記録（大石副委員長）

（1）地域防災拠点参集訓練（12/9<日>の反省について

＊台谷戸町内会、東町内会、和泉団地自治会、地域振興課

（2）次年度申し送り

- 会計報告
- 地域防災拠点参集訓練実施

※マニュアルに沿って班ごとに避難受け入れ等訓練（200名）

- 中和田中学校地域防災拠点マニュアルの作成、検討

（3）2018(平成31)年度地域防災拠点運営委員会予定

月	活　動　予　定
5月	防災拠点連絡協議会総会（区役所）　5月末
6月	第１回運営委員会（中和田中学校）　6月中旬
8月	第２回運営委員会（中和田中学校）　8月中旬
9月	運営委員受け入れ訓練（中旬）・第３回運営委員会（9月末）
10月	第４回運営委員会（中和田中学校）　10月中旬
11月	第５回運営委員会（中和田中学校）　11月中旬
12月	中和田中学校地域防災拠点参集訓練（200名）　12月中旬
2月	第６回運営委員会（中和田中学校）　2月中旬

以上

令和元年度　中和田中学校地域防災拠点　防災活動計画書（案）

月	活　動　内　容	参加人数
4		
5	防災拠点連絡協議会総会（5/29）	4名（委員長、学校長、区役所担当者）
6	第 1 回　運営委員会；組織表、年度活動計画（6/4）	25名 （班長・次長含む）
7		
8	第2回運営委員会；マニュアル検討、DVD 学習等 （8/6＜火＞、18：00より）	18名
9	運営委員会受け入れ側訓練（9/8〈日〉9：00より） 第3回運営委員会；訓練反省（9/24〈火〉）18：00より	（70名） （18名）
10	第4回運営委員会；拠点参集訓練の内容、等 （10/15〈火〉）18：00より マニュアル検討・作成	18名
11	第5回運営委員会；参集訓練の最終打ち合わせ （11/12〈火〉）18：00より	25名 （班長・次長含む）
12	地域防災拠点参集訓練（12/8（日））10:00～ （中和田中学校ボランティア生徒も参加）	200名（70）
1		
2	第 6 回運営委員会；今年度反省、次年度申し送り （2/12（水））18：00より マニュアル完成・配付	18名
3		

※運営委員会開催案内について、第3回以降は配付しません。各委員におかれましては本用紙の計画書に沿ってご予定してください。